

協議事項

柏市郷土資料展示室の活用促進と文化発信について

令和 8 年 4 月に策定した第六次柏市芸術文化振興計画について、市内文化施設の一つとして、柏市郷土資料展示室については 14 ページに記載。柏市郷土資料展示室は優れた歴史資料や美術品などを展示している一方、規模や立地などの点で一定の制限があり、市民の認知度や利用機会に課題があると考えます。

地域の文化を継承し、市民や来訪者に発信する拠点として、どのような活用策が考えられるか。

●柏市郷土資料展示室とは

柏市沼南庁舎内に所在。

「郷土かしわ」への興味と理解を深めていただくため、本市に関する文化財資料・歴史資料などのほか美術品（砂川コレクション等）を展示する施設。企画展示場所を設け定期的（美術、歴史や文化財など年 3 回程度）に展示替えを行っている。

年間来場者数

R5 年度：3,981 人 R6 年度：8,476 人 R7 年度：7,328 人

【参考】近年の美術系企画展

「型染と吉祥の旅」 R7. 3. 25～6. 29（来場者 1,516 人）

「芹沢銈介と人」 R6. 3. 26～6. 30（来場者 1,467 人）

柏市 70 周年記念：8. 16～8. 21 柏市民ギャラリー開催（来場者 1,363 人）

「花鳥風月一心を染めるものがたりー」 R5. 3. 22～7. 2（来場者 1,493 人）

「セリザワブルーー人間国宝、芹沢銈介の“藍”に揺蕩うー」 R4. 3. 15～7. 10（来場者 1,005 人）

●課題整理

施設運営上の課題はあるか

立地・広報・展示スペース・バリアフリー・デジタル対応 等

●検討項目

来館者増加策

子ども・若者の利用促進

デジタル化の推進

市民参加型の企画

他施設や団体との連携